

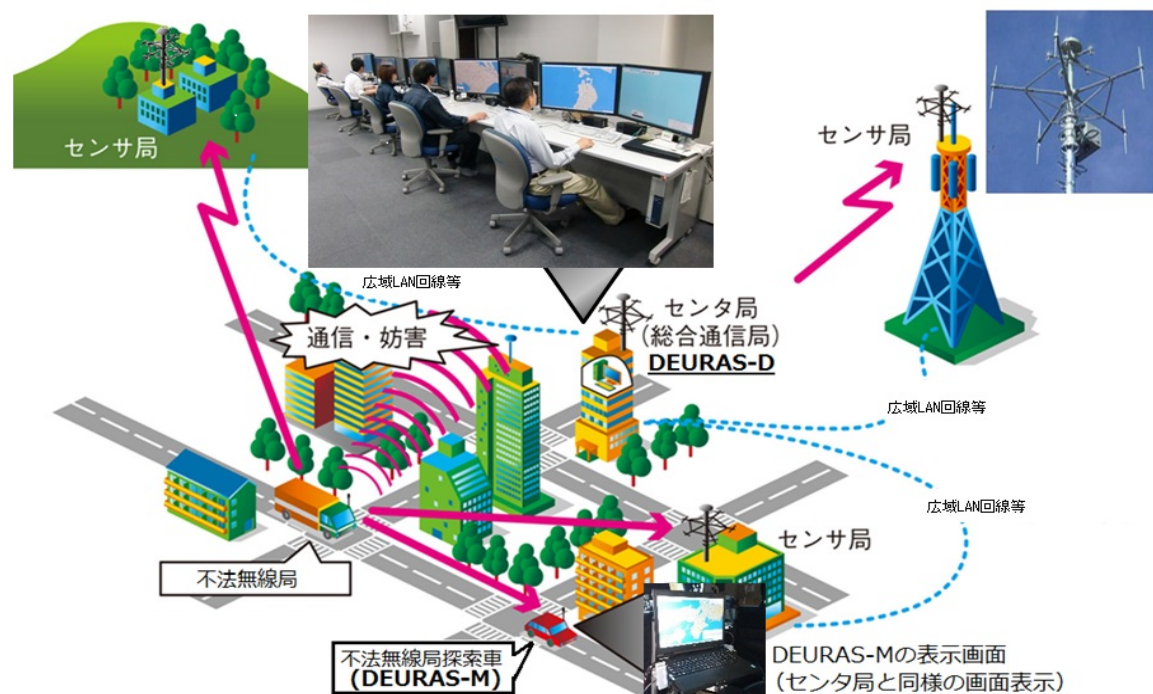
不法無線局の多くは、ダンプカー等の車両に設置されているため、通報(申告)を受けて複数の電波監視車を出動させても電波の発射源を特定することは困難でした。電波環境保護の重要性が高まるなか、不法無線局の取締りの強化が求められ、効率的かつ効果的な電波監視が必要とされてきました。

このため、平成5年度から電波利用料を財源として、電波監視の強化のために施設整備等を行ってきており、その一つとして不法無線局探索の決め手ともいえる電波監視システム「DEURAS(デュラス)」を開発し、全国の主要な都市へ配置し、電波監視を行う上でなくてはならない設備の一つとなっています。

通常は愛称でこのように呼んでいますが、これは、「DEtect Unlicensed RAdio Stations」の略であり、日本語で言えば「不法無線局を探知する」、すなわち、不法無線局探索設備ということになります。

この設備は、総合通信局に設置されたセンタ局と各地に設置されたセンサ局及び必要により車両に設置したセンサ局で構成されています。

電波監視システムのイメージ



各地に設置されたセンサ局や車両に搭載されたセンサ局を、総合通信局に設置されたセンタ局や不法無線局探索車から遠隔操作することにより、センサ局で受信した電波をモニタしたり、その電波発射源の方位等を測定して、不法無線局の位置等を特定します。

※「不法無線局探索車」とは、受信装置、方向探知処理装置、電界強度測定装置などを搭載する車両のことです。